



参議院議員

大野もとひろ

号外・埼玉県参議院選挙区第5総支部版 NO.3

発行：民主党プレス民主編集部

〒100-0014東京都千代田区永田町1-11-1 TEL03-3595-9988（代表）

編集：参議院議員大野もとひろ事務所

〒332-0017埼玉県川口市栄町2-1-11-103

TEL048-271-5252 FAX048-271-5200 HP: <http://www.oonomotohiro.jp>

【文責：木俣敬伸】



朝日東小学校卒業生初の国会議員が 参議院を舞台に活躍！

去る7月11日に投開票された参議院選挙埼玉選挙区で、民主党公認の新人、大野もとひろが当選を果たしました。

7月28日に初登院を果たした大野もとひろは早くも参議院を舞台に活躍しています。

議会の花形である予算委員会と法務委員会に所属した他、得意の外交分野では、官房長官、外務副大臣、外務政務官、テロ対策特別委員会委員長等に呼ばれて意見を求められるなど、大活躍を見せています。

また、現在事業仕分けのレビューが実施されており、地道な調査の作業が続いています。大野もとひろは行政のムダを省くために多くの時間を費やし、外務省や法務省、警察の官僚と対峙し、または調査におもむいています。

すでに多くのムダを指摘していますが、その詳細は本番の事業仕分けで明らかにされます。

岡田前外務大臣、異例の記者会見

8月20日、岡田外務大臣（当時）が記者会見において大野もとひろの個人名をあげ、「大野さんは当選される前から私もよく存じあげている人ですし・・・そういった専門家の知見というものは是非活かしていきたいというように思います。必要に応じてご意見を聞かせていただいたり、もちろん、ご本人も部会などでいろいろな発言をされると思いますが、私も親しい仲なので必要に応じてアドバイスをいただきたいというよう考えています。」と述べました。

現職の大臣が定例の記者会見でこのような発言をするのは前例のないことで、大野もとひろに対する各方面の期待は高いようです。



あなたも

参議院議員大野もとひろの
サポーターになりませんか？

大野もとひろは、新人議員として、現在後援会発足に向けた入会のお誘いを行っています。

朝日東小学校卒業生の本格派新人、大野もとひろを支援しませんか？

ご連絡は大野もとひろ事務所まで。

大野もとひろ事務所

〒332-0017

埼玉県川口市栄町2-1-11

プランズ川口栄町パークフロント103

TEL: 048-271-5252 FAX: 048-271-5200

E-mail: moto_new_era@yahoo.co.jp

大野もとひろ 検索

参議院議員大野もとひろの 民主党代表選挙の投票行動

9月14日、任期切れに伴う民主党代表選挙が実施されました。今回の代表選挙は8年ぶりの代表選挙というのみならず、事実上の総理大臣を選ぶ選挙であり、内外の注目が集まりました。

大野もとひろは今の日本は「まったなし」だと主張し、人間関係などではなく、政策で代表を選ぶべきとの論を展開し、同期の参議院議員2名と共に、小沢一郎候補と菅直人候補に対し公開質問状を提出しました。大野もとひろは「複数の省庁にまたがる問題に関して、議員による政治家主導のチームを作り、マニフェストで約束した事項の実現をお願いしたい」と要望しました。

この質問状を受けた小沢・菅両候補はそれぞれ、13日に大野もとひろと会い、書面で回答を手渡しました。この回答を受けた大野もとひろは、菅候補の回答の方がより踏み込んだ回答であり、待ったなしの日本において、ただちに政策を実行する機会がより多くの議員に与えられるものと判断して、菅候補の支持を表明しました。

この一連の様子は、大野もとひろのブログ (<http://ameblo.jp/oonomotohiro/>) にアップされておりますので、是非ごらんください。

大野もとひろ、マスコミで大いに語る

新人議員ですが、当選以来、大野もとひろは多くのマスコミでしばしば政策を表明してきました。

7月12日 フジテレビ

7月27日 BSフジ 「プライムニュース」

9月11日 日本テレビ 「バンキシャ」

9月13日 BSフジ 「プライムニュース」

8月25～27日 インターネット新聞 (<http://tanakaryusaku.seesaa.net/article/160566744.html>)

また、8月には、「オバマ政権の政策方針と課題」（共訳、北星堂出版）と題する

大野もとひろのプロフィール 埼玉県川口市出身 昭和38年11月12日生まれ 46歳

朝日東小学校から慶応大学卒業、国際大学で修士号取得。

中東諸国の日本大使館勤務、中東調査会上席研究員。複数の政府委員を歴任。東京大学、青山学院大学大学院、日本大学等で教鞭をとる。

湾岸戦争時に、日本人の人質救出に尽力。2003年イラク戦争前、国会において、「イラクに大量破壊兵器の脅威はなく、開戦となればイラクの混乱は長期化する」と述べ、一石を投じる。

イラク戦争後、世界初の民間による建造物寄付となる孤児院寄贈など、ボランティア活動にも積極的に取り組む。この功績を認められ、彩の国国際親善大使に任命される。

学生時代、アメフト、柔道に熱中。趣味は音楽、落語。妻、子供3人。

<http://www.oonomotohiro.jp/>

